# 電気ケトル 1.0L

## HC-EK02

# 取扱説明書

本商品はご家庭用です。不適切な取り扱いは事故につながりますので、初めてご使用の際は必ずこの「取扱説明書」をお読みいただき、適切な取り扱いをお願いいたします。本取扱説明書は大切に保管してください。

**保証書付**

## もくじ

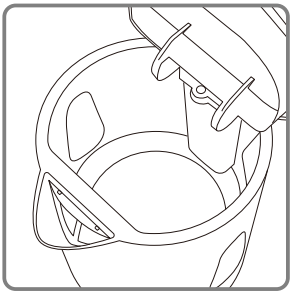

| | |
|---|---|
| 便利なポイント | 1 |
| ご使用の前に／安全上のご注意 | 2～4 |
| 各部のなまえとはたらき | 5 |
| ご使用の前に | 5.6 |
| ご使用方法 | 7.8 |
| お手入れの方法 | 9 |
| 仕様 | 9 |
| 修理をご依頼される前に | 10 |
| 保証・サービスについて | 10 |
| 保証書 | 裏面 |


●飲みたい分だけサッと沸かせます。
（消費電力 900W）

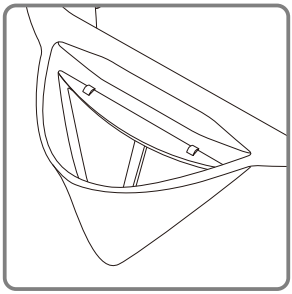
| | |
|---|---|
| カバー付 | ほこりが侵入しにくい注ぎ口カバー付です。 |
| 空だき防止 | 空だきを検知したら自動的に電源をOFF にします。 |
| セパレートタイプ | 本体はコードレスだから注ぎやすく持ち運びも簡単です。 |

## 便利なポイント

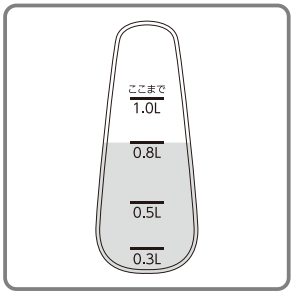
- **必要なときに必要な分だけ、スイッチひとつで素早く沸かせてお湯が注げます。**
- **ほこりが侵入しにくい注ぎ口カバー付です。**
- **お湯が沸くと、自動的にスイッチが切れる「自動電源OFF」機能付です。**
- **水が入っていない状態で間違ってスイッチが入っても、安心の「空だき防止」機能がついた安全設計です。**
- **ケトル本体がコードレスだから360°どの方向からも着脱可能で注ぎやすく、持ち運びも便利です。**
- **給電スタンドに切り込み部が3ヶ所あるので、給電スタンドから出るコードの長さを細かく調整できます。**



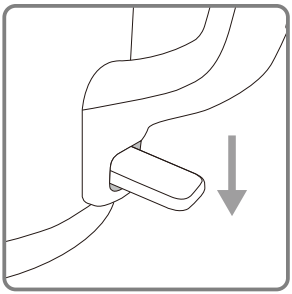
手が入る大きな口だからお手入れ簡単です



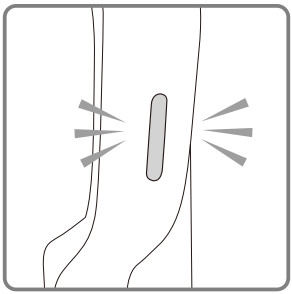
取りはずし可能な洗えるメッシュフィルター付です



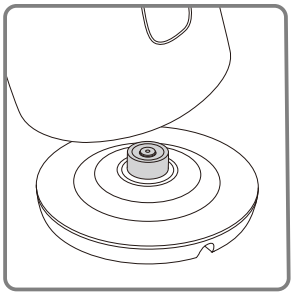

お湯の量がひと目で分かる目盛り付です



スイッチひとつでお湯が沸きます



電源 ON でランプが点灯します



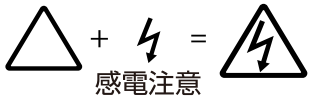
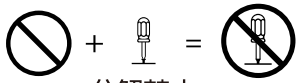
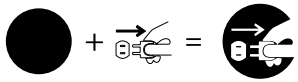
どこにでも持ち運べるコードレスタイプです

# ご使用の前に / 安全上のご注意

## 警告マークについて

※電源コードに貼られている警告シールは、ご使用の際の危険や注意を促すものですので、はがさずにご使用ください。

この取扱説明書では、製品を安全にお使いいただき、お客さまや他の人々への危害や損害を未然に防止するため、ご使用の際の注意事項を下欄のような警告マークで表示しております。このマークは、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさ、切迫の程度で明示するものです。それぞれの意味を充分にご理解の上、この取扱説明書をお読みください。また、これらのマークを表示している事項は、いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

| 警告マークの種類 | 警告マークの内容 |
|---|---|
| | 禁止の行為であることを告げる内容です。 |
| | 行為を強制したり指示したりする内容です。 |
| ⚠ **危険** | 人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容です。 |
| ⚠ **警告** | 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。 |
| ⚠ **注意** | 人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容です。 |
| 例  感電注意 | △記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の例では感電注意）が描かれています。 |
| 例  分解禁止 | ⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。マークの中やマークに隣接する文章に具体的な禁止内容(左図の例では分解禁止)が描かれています。 |
| 例  電源プラグをコンセントから抜いてください | ● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。 |

# ご使用の前に / 安全上のご注意

● 感電・やけど・火災・故障などを防ぐために、ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

## ⚠ 危険

電源コネクタ部分に金属製クリップやヘアーピンなどの異物を接触させない。感電・ショート・発火の原因になります。

ガス火にかけたり、電気ヒーター・電磁調理器・電子レンジなどで使用しない。火災・熱変色・変形・故障の原因になります。

## ⚠ 警告

使用中、電源プラグ・電源コードが異常に熱くなるときは、直ちに使用を中止する。

定格 15A 以上のコンセントを単独で使用する。他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

絶対に分解や修理・改造は行わない。発火したり、異常作動してけがをすることがあります。

ケトル本体底部や給電スタンドを水に浸さない。感電・ショート・発火の原因になります。

加熱中もしくは加熱直後はケトル本体胴部や注ぎ口周辺には手を近づけない。お湯により加熱されたケトル本体胴部や高温の蒸気に触れると、やけどをするおそれがあります。

取り扱いが自分でできない人、取り扱いに不慣れな人だけでの使用はさせない。けが・やけど・感電の原因になります。

小さな子どもだけで使用させない。また、乳幼児のそばで使用したり、手の届くところに置かない。ケトル本体が倒れてお湯がこぼれ、やけどをするおそれがあります。

強い衝撃を与えない。破損・故障・短寿命の原因になります。

交流100V以外では使用しない。(日本国内100Vのみ)火災・感電の原因になります。

電源コードや電源プラグがいたんでいたり、コンセントのさし込みがゆるいときは使用しない。感電・ショート・発火の原因になります。

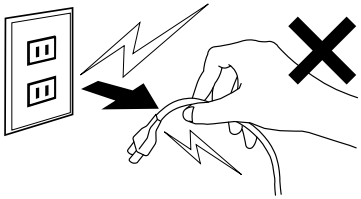
電源プラグのほこりなどは、定期的に取る。プラグにほこりがたまると湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

ぬれた手で、電源プラグの抜きさしをしない。感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実にさし込む。さし込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。

壁や家具の近くで使わない。蒸気や熱で壁などが変色、変形する原因になります。収納棚などで使うときは中に蒸気がこもらないようにする。

電源プラグを抜くときは、必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。電源コードを持って引き抜くと感電・ショート・発火することがあります。



使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く。けがややけど、絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

「ここまで」(1.0L)目盛り以上の水を入れない。吹きこぼれ・やけどをするおそれがあります。

専用の給電スタンド以外は使用しない。給電スタンドを他の機器に使用しない。故障、火災の原因になります。

# ⚠警告

電源コネクタ部を濡らさない。感電、ショート、発火等の原因になります。

不安定な場所や熱に弱い敷物の上やカーテン等の可燃物の近くで使わない。火災の原因になります。

フタを勢いよく開け閉めしない。お湯がふきこぼれ、やけどをするおそれがあります。

ケトル本体を抱きかかえたり、ハンドル側に大きく傾けたり、横にしたり、ゆすったりしない。また、ハンドル以外を持って移動しない。注ぎ口やそれ以外の場所からお湯が流れ出て、やけどをするおそれがあります。

電源コード、電源プラグを破損するようなことはしない。傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を乗せたり、束ねたりすると、感電・ショート・火災の原因になります。

加熱中、加熱直後はフタを開けたり、さし水をしない。お湯が飛び散ったり、高温の蒸気が出てやけどをするおそれがあります。

水以外のもの（お茶・牛乳・お酒・ティーバッグ・インスタント食品など）を入れて加熱しない。泡立って吹きこぼれ、やけどや故障の原因になります。

ペットなどが通る場所、浴室などの湿気の多い所では使用しない。変形、故障、事故、火災の原因になります。

水、またはお湯の入っていない状態でスイッチを入れない。空だき防止機能が働き電源は切れますが、ケトル本体内部のプレート部分が熱くなり、やけどや故障の原因になります。

ストーブやガスコンロなど熱源のそばや、直射日光が当たる場所では使用しない。本体のプラスチック部分が熱で損傷するおそれがあります。

加熱中は移動させない。お湯がこぼれたり、やけどをするおそれがあります。

ビンやカップ、ペットボトルなど水以外のものをケトルに入れない。ふきこぼれてやけどをするおそれがあります。また故障や汚れの原因にもなります。

給電スタンドに本体をのせたまま水を注がない。水を入れ過ぎた場合スタンド内に水が入り故障の原因になります。

フタを閉めてから沸騰させる。フタが閉まっていないとお湯が沸騰してもスイッチが切れない場合があります。

給湯ロック機能はありません。注ぎ口から常にお湯が出るため、取扱いに注意してください。

給電スタンドの電源コードに手や足が引っかからない場所に設置する。コードが引っ張られると、その勢いでケトル本体が倒れてお湯がこぼれ、やけどをするおそれがあります。

破損した際は、けがをしないよう充分注意する。廃棄する際は、お住まいの地域の指示に従い分別してください。

# ⚠注意

お手入れの際は、スイッチを切り、電源プラグを抜く。けがの原因になります。

使用中、給電スタンドにケトル本体をのせたまま移動させない。けがや故障の原因になります。

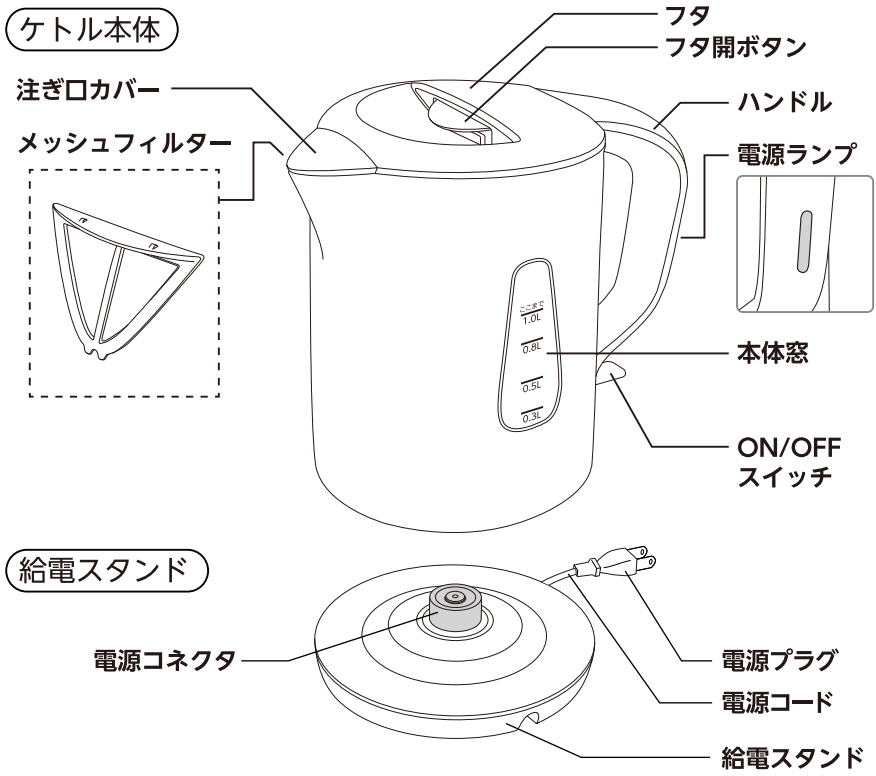
お手入れは使用直後をさけ、ケトル本体が冷めてから行う。やけどのおそれがあります。

※本製品に保温機能は付いていません。

※本製品は一般家庭用です。

※本製品は日本国内のみで使用してください。

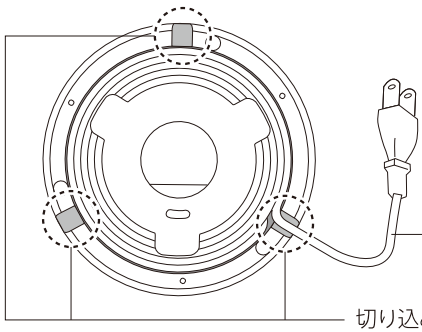
# 各部のなまえとはたらき




# ご使用の前に

## 1 電源コードをセットする

余分な電源コードを給電スタンドの底面に巻いて長さを調節し、切り込み部から外に出してください。給電スタンドの切り込み部は３ヶ所あります。

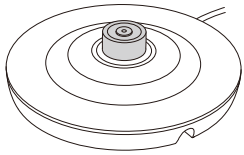



⚠ 切り込み部にきちんとセットしていないとガタついて不安定になり、ケトル本体が倒れるおそれがあります。

⚠ 定格 15A 以上のコンセントを単独で使用する。他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

## 2 給電スタンドを置く

給電スタンドを清潔で平らな安定したところに置いてください。



⚠ 水がかかるような場所に置かないでください。
感電、ショート、発火等の原因になります。

⚠ 不安定な場所に置くとケトル本体が倒れてお湯がこぼれ、やけどをするおそれがあります。

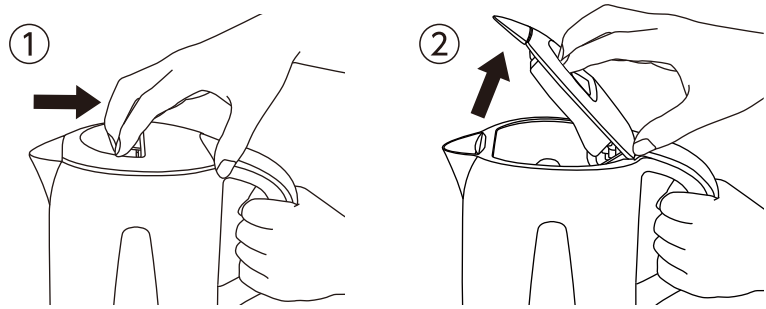
⚠ 乳幼児の手の届くところには置かないでください。

## 3 フタの開け方、閉め方

フタを開けるときはフタ開ボタンをハンドル側に引きながら (①)、フタを引き上げてください (②)。

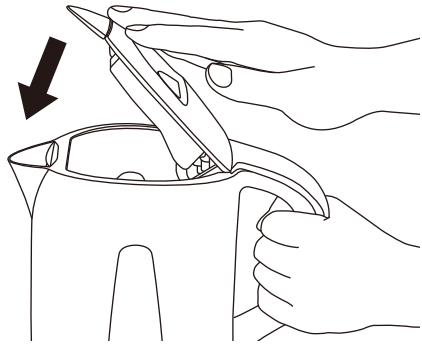
開けるとき

⚠ ハンドルをしっかり握りながら開けてください。




フタを閉めるときはカチッと音がするまでしっかりとフタを押して閉めてください。

閉めるとき



⚠
ハンドルをしっかり握りながら
閉めてください。

⚠ フタを開けたまま加熱すると自動電源 OFF 機能が正常に働かない原因になります。

⚠ お湯を沸かしている最中や湯沸かし直後は、フタやケトル本体が大変熱くなっていますので、フタを開けたり、蒸気に手を近づけたりしないでください。やけどをするおそれがあります。水を追加するときはケトル本体が充分に冷めてから入れてください。沸騰直後に入れますとやけどの原因になります。

# ご使用方法

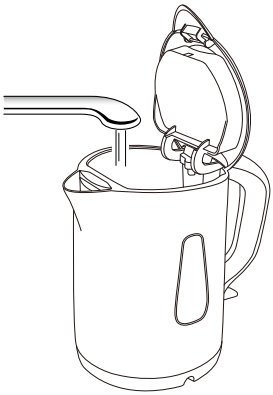
## ～準備～

はじめて使用する際は、下記「お湯を沸かす」の要領で一度お湯を沸かし、そのお湯を捨ててからご使用ください。

## ～お湯を沸かす～

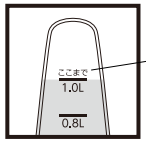
### 1 フタを開けてケトル本体に水を入れる (P6 - 3 フタの開け方、閉め方 - 開けるとき)

●ケトル本体を給電スタンドにセットする前に、水を入れてください。
●本製品は出荷前に湯沸かし等の検査をしております。乾燥には配慮しておりますが、内部に水滴のあと等が残る場合があります。これは検品で使用した水に本来含まれているミネラル成分の作用によるもので使用上問題ありません。



⚠ 「ここまで・1.0L」の目盛り以下の容量範囲でご使用ください。水を入れすぎますと、ふきこぼれるおそれがあります。また、少なすぎると(140ml未満)自動電源OFF機能が正常に働かないことがあります。

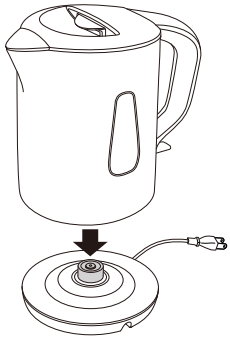
⚠ 給電スタンドの上にケトル本体をセットした状態のままで水を注ぐことはしないでください。故障の原因となります。




「ここまで・1.0L」目盛り

### 2 フタを閉めてケトル本体を給電スタンドの上にセットする

●フタを閉めるときは、カチッと音がするまで確実に押して閉めてください。
(P6－3 フタの開け方、閉め方 - 閉めるとき)

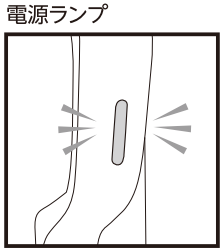


⚠ 給電スタンド・電源コネクタ部分に異物がはさまっていないこと、また、電源コネクタ部分が完全に乾いていることを確認してからセットしてください。

⚠ ・メッシュフィルターは必ずセットする。
・メッシュフィルターがセットされていない場合、お湯が沸いてもスイッチが切れません。

## 3 電源を入れる

●電源プラグをコンセントにさし込んでください。ON/OFF スイッチを ON にするとハンドル部の電源ランプが点灯し、加熱がはじまります。
●お湯が沸騰すると ON / OFF スイッチは自動的に切れ、電源ランプも消灯します。( お湯が沸騰する時間は、水量・水温・室温によって異なります。コーヒー1杯分 140ml のお湯を沸かすのに約 1 分 40 秒かかります。)
●本製品には保温機能はついておりません。




⚠ 加熱中、加熱後はケトル本体胴部・フタ・注ぎ口周辺は非常に高温となります。手や顔を近づけないようにご注意ください。

⚠ 沸騰直後は絶対にフタを開けないでください。高温の蒸気が吹き出し、やけどをするおそれがあります。

⚠ 加熱中、加熱後は注ぎ口から高温の蒸気が出ますのでやけどに注意してください。

⚠ お湯が沸騰する前に電源を切る場合は、電源スイッチを指で押し上げてオフにしてください。

## 4 お湯を注ぐ

●沸騰したら自動で電源が切れます。ON/OFF スイッチが OFF になっていることを確認してください。
●沸騰状態がおさまってからハンドルをしっかり持ち、給電スタンドからケトル本体をはずし、ゆっくりと傾けてお湯を注ぎます。
●電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠ お湯を注ぐ際はケトル本体胴部をさわらないでください。やけどをするおそれがあります。

⚠ お湯を注ぐ際は勢いよくケトル本体を傾けないでください。注ぎ口以外からお湯が出たり、お湯があふれ、やけどをするおそれがあります。

⚠ ケトル本体が冷めるまでハンドル以外の部分に触れないでください。やけどをするおそれがあります。

⚠ 沸騰直後は絶対にフタを開けないでください。高温の蒸気が吹き出し、やけどをするおそれがあります。

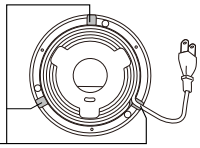
残り湯は捨ててください

※ 汚れやにおいの原因になりますので、残ったお湯は必ず捨ててケトル本体内部は乾燥させてください。

# お手入れの方法

**電源コードの収納**

電源コードは給電スタンドに収納することができます。給電スタンドの裏に電源コードを巻きつけ、給電スタンド切り込み部に電源コードをセットします。収納時・使用時いずれの場合も電源コードは必ず切り込み部にセットして使用してください。

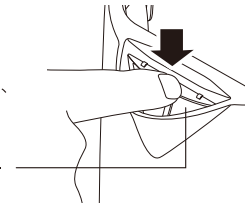



⚠ **お手入れは必ず電源プラグを抜き、ケトル本体が冷めた状態で行ってください。磨き粉、金属たわし、漂白剤など使用しない。変色するおそれがあります。**

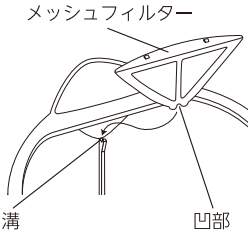
## ～メッシュフィルターの洗浄～

●必ず電源プラグを抜いて、ケトル本体が冷めるのを待ってください。
●メッシュフィルターを取りはずして、中性洗剤でやさしく洗浄した後、水でよくすすいでください。
洗浄後は正しくセットしてください。セットされていない場合や不完全なセット状態の場合、沸騰しても自動的に電源が切れません。

**取りはずし**
注ぎ口側よりメッシュフィルターをケトル下側へ押すようにして、取りはずします。




**取り付け**
メッシュフィルター下部の凹部をケトル本体の溝に合わせて、カチッと音がするまで内側からしっかり押し込んでください。




## ～ケトル本体外側・フタ・給電スタンドのお手入れ～

●乾いたやわらかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は水で薄めた中性洗剤を含ませた布で拭いた後、かたく絞った布で拭き取ってください。丸洗いやシンナー・ベンジン・灯油などの有機溶剤、研磨剤入り洗剤は使用しないでください。
●故障の原因になりますので、水をかけたり、水の中に入れたりしないでください。
●みがき粉やクリームクレンザーなどを使用しますとケトル本体に傷をつけるおそれがありますので、使用しないでください。
●電源プラグやコンセントにたまったほこりは定期的に取り除いてください。

## ～ケトル本体内側のお手入れ～

●ケトル本体内側の白い汚れは、水に含まれるミネラル成分が固着したものです。(注)衛生上問題はありませんが、定期的に以下の方法でお手入れすることをおすすめします。
1. 水を「ここまで」(1.0L) の目盛りまで入れ、その中にクエン酸を 30g 程度入れてかき混ぜます。
2. フタを閉めて沸騰させ、電源が切れてからその後約 1 時間放置します。
3. お湯を捨て、水でよくすすぎます。汚れが残っている場合は、スポンジ等で拭き取ってからよくすすぎます。
4. クエン酸のにおいが気になる場合は、さらに水でよくすすいでから再度水を入れて沸騰させてからお湯を捨ててください。
●本製品を食器洗い乾燥機などで洗浄・乾燥しないでください。

(注) 水に含まれるカルシウムや鉄分などのミネラル成分の作用により赤い斑点状、白い斑点状のものが現れる場合があります。市販のミネラルウォーターをご使用になると特に多く付着することがありますが衛生上問題ありません。 ※汚れが目立ってきましたら、クエン酸で洗浄することをおすすめします。(上記参照)

# 仕様

※特定地域(高い山・厳寒地など)においては所定の性能が確保できないことがあります。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 品　番 | HC-EK02 | | |
| 電　源 | AC100V　50Hz/60Hz 共用 | サイズ | 幅217×奥行142×高さ204(mm) (給電スタンドを含む) |
| 定格消費電力 | 900W | コード長さ | 約120cm |
| 最大容量 | 1.0L | 重　量 | 約825g(給電スタンドを含む) |
| 材　質 | 本体・フタ／ポリプロピレン　ハンドル／ポリプロピレン　給電スタンド／ポリプロピレン | | |

※製品の仕様は改良などのため予告なく変更することがありますのでご了承ください。　MADE IN CHINA

# 修理をご依頼される前に

※次の点をチェックしましょう。

| こんなときは | 原　因 | 対　策 | ページ |
|---|---|---|---|
| 電源が入らない | 電源プラグが抜けている | 電源プラグをしっかりとさし込む | 8 |
| | 連続使用により、安全装置の感知部分が高温状態にある | しばらく、電源 OFF の状態で放置し、再び電源を入れる | |
| 自動電源 OFF が機能しない | 水の量が少ない | 水を増やし、電源を入れる。<br>水の量は140ml～ここまで(1.0L)以内で使用する | 7 |
| 沸騰するまでに時間がかかる | フタが完全に閉まっていない | しっかりとフタを閉める | 6 |
| | メッシュフィルターが正常にセットされていない | メッシュフィルターを正しくセットする | 7,9 |
| お湯がにおう | 使いはじめのうちは、においがすることがあります<br>ご使用されているうちににおいは少なくなります | 重曹によるにおいの軽減<br>1ℓの水に 30g の重曹を入れてよくかき混ぜてから沸騰させ12時間放置し、ケトル内部をすすいで使用する | |
| | 水道水に含まれる塩素の量によりカルキ臭が残ることがありますお茶などをおいしくいただくときは、なるべく浄水を使用されることをお薦めします | | |
| 使用後しばらくすると音がする | 熱せられた部品が冷めるときに音が発生することがあります<br>故障ではないのでご安心ください | | |
| 沸騰後、給電スタンドに水滴がつく | 沸騰したときの蒸気を感知して電源が OFF になる構造になっています<br>蒸気が水滴となり、ケトル本体底部の排水口から排水されることがありますが故障ではありません | | |

# 保証・サービスについて

1. **保証書の内容のご確認と保管のお願い。**
   必ず「販売店およびお買上げ日」をご確認のうえ、お買い上げの店から受け取り、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
2. **保証期間は、お買い上げ日より1年間です。**
3. **修理を依頼される時**
   **〔保証期間中〕**
   本商品に保証書を添えて、お買上げの店へご持参ください。
   保証書の記載内容に基づき修理をさせていただきます。
   **〔保証期間を経過しているとき〕**
   お買い上げの店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理させていただきます。

4. **電気ケトルの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後5年です。**
   ●この期間は経済産業省の指導によるものです。
   ●性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
5. 上記内容についての詳細、ご贈答品・ご転居の場合など、その他製品に関するお問合せ、ご質問がございましたら、この保証書に記入してある販売店又は、トップバリュお客さまサービス係にご相談ください。

**⚠ 警　告**

**●改造はしないでください。また修理技術者以外の人は、分解したり修理をしないでください。**
火災・感電・ケガの原因となります。修理はお買い上げの店にご相談ください。

# TOPVALU 電気ケトル 1.0L 保証書 持込修理

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 品番 | | HC-EK02 | | |
| お買い上げ日 | | 年 月 日 | 保証期間 | 本体1年 |
| お客さま | ご住所<br>ご芳名 | 様 電話 | | |
| 販売店 | 住所<br>店名 | 電話 | | |

※印欄に記入のない場合は無効になりますので必ずご確認ください。
本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から上記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い上げの店に修理をご依頼ください。

販売者 **イオン株式会社**
〒261-8515 千葉県千葉市美浜区中瀬1-5-1
●トップバリュお客さまサービス係
TEL.0120-**30**-1580（10~17時：日曜日は除く）

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げの店で無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、本商品と本書をご持参・ご提示のうえ、お買い上げの店に依頼してください。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの店にご相談ください。
4. ご贈答品等で本保証書に記入してある販売店に修理がご依頼できない場合には、下記のトップバリュお客さまサービス係へご相談ください。
5. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   （イ）使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
   （ロ）落下等による故障及び損傷。
   （ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷。
   （ニ）一般家庭用以外（例えば、業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷。
   （ホ）本書の提示がない場合。
   （ヘ）本書にお買い上げ年月日、お客さま名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
7. 本書再発行はいたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

修理メモ

※この保証書は本書に表示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客さまの法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの店または、下記のトップバリュお客さまサービス係にご相談ください。
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは「保証・サービスについて」をご覧ください。

愛情点検

**長年ご使用の電気ケトルの点検を！**

こんな症状はありませんか？ ご使用前に必ず次のことを確認してください。

- ●電源プラグ・コードが異常に熱い。
- ●コードを折り曲げると通電したり、しなかったりする。
- ●電源ランプが点灯・消灯しない。
- ●ON/OFFスイッチが上がる、または下げることができない。
- ●その他の異常・故障がある。

▶ **ご使用中止** 電源プラグを抜き、故障や事故の防止のため、必ずお買い上げのお店に点検（有料）をご相談ください。

●中国製

販売者 **イオン株式会社**
〒261-8515 千葉県千葉市美浜区中瀬1-5-1
●トップバリュお客さまサービス係
TEL.0120-**30**-1580（10~17時：日曜日は除く）

●本商品について万一ご満足いただけない場合は、お買い上げの店までご連絡ください。お取り替えまたはご返金いたします。